

貸借対照表

(2025年1月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,710,869	流動負債	1,026,167
現金及び預金	334,053	買掛金	562,093
売掛金	1,294,796	短期借入金	10,000
前渡金	93,166	一年以内返済予定長期借入金	209,066
未収入金	7,843	預り保証金	58,720
前払費用	133,653	未払金	63,357
商品及び製品	10,753	未払費用	53,797
貸倒引当金	▲ 168,348	未払消費税	33,335
その他	4,951	契約負債	27,098
固定資産	1,212,849	未払法人税等	1,253
有形固定資産	151,814	その他	7,444
建物及び構築物	69,959		
機械及び装置	100		
工具器具備品	15,057	固定負債	1,793,433
土地	483	長期借入金	1,756,222
貸与資産	66,214	長期未払金	2,042
無形固定資産	480,563	資産除去債務	35,169
のれん	332,258	負債合計	2,819,600
営業権	33,541		
ソフトウェア	25,807	純資産の部	
ソフトウェア仮勘定	87,355	株主資本	104,118
その他	1,601	資本金	28,750
投資その他の資産	580,472	資本剰余金	107,750
差入保証金	431,890	資本準備金	107,750
繰延税金資産	136,011	その他資本剰余金	0
その他	12,570	利益剰余金	▲ 32,381
		純資産合計	104,118
資産合計	2,923,719	負債・純資産合計	2,923,719

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)資産の評価基準及び評価方法

①棚卸商品

棚卸資産の評価方法は、個別法に基づく原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2)固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

主として定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法によっております。

②無形固定資産

③定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

ソフトウェア 5年

のれん 5年

営業権 4年

(3)引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については合理的に見積った貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4)収益及び費用の計上基準

約束した財又はサービスはその支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点については、「収益認識に関する注記」に記載のとおりであります。

また、当社が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る対価の額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1)担保に供している資産及び担保に係る債務

①担保に供している資産

流動資産の「受取手形及び売掛金」 234,794 千円

②担保に係る債務

長期借入金 1,450,000 千円

(2)有形固定資産の減価償却累計額

216,348 千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生は、主に原因は、契約負債、貸倒引当金繰入額等の否認等であります。

5. 関連当事者との取引に関する注記

該当事項はありません。

6. 1株あたり情報に関する注記1株

当たり純資産額	3,675円59銭
1株当たり当期純利益	10,766円45銭

7. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

8. 当期純利益額

304,981千円